

在学生の皆様

教職員の皆様

関係者の皆様

私は、令和3年4月に学長就任以来、平成31年3月に石井前学長と浜松医科大学の今野学長が締結した「国立大学法人静岡国立大学機構（仮称）」の設立及び大学再編についての合意書を尊重し、1年以上の間、学内外のステークホルダーの方々の意見を伺い、議論を重ねてまいりました。

その結果を踏まえ、法人統合・大学再編だけでなく、どのような形で浜松医科大学との関係を深めていくべきか、熟慮に熟慮を重ねて検討した結果、静岡大学の学長として、静岡大学と浜松医科大学の10年後、20年後の未来を見据え、大学の発展・進化を遂げるためには、現在検討されている「大学再編」という選択肢を残しつつも、最終的に「大学統合」を目指すことが最も望ましい姿であると考えています。

このことについては、令和4年7月5日に開催されました浜松地区大学再編・地域未来創造会議において、静岡大学学長として説明した次第です。これを受け、同日から6日にかけて、静岡大学と浜松医科大学の法人統合・大学再編に関する複数の報道があったことは、皆様が既に御存じのことと思います。

これからも引き続き、浜松医科大学と両大学間で議論を重ねていく所存ですが、静岡大学と浜松医科大学は、静岡県の国立大学として、一層の地域貢献に務め、国や地域から必要とされる教育を施し、特定の研究分野で世界と伍する大学を目指す必要があります。そのためには、これまで両大学が培ってきた歴史と伝統を活かすとともに、それぞれがより強固に効果的に融合し、幅広い教育研究体系を擁する総合大学として、地域・国内のみならず、世界に対しても大学の価値を一層高める必要があると考えています。

皆様にも御懸念や異なる御意見が多々あるかと思えます。引き続き、皆様とも議論を重ねていきたいと思えますので、何卒御理解と御支援、御教授のほどよろしく願い申し上げます。

令和4年7月14日
学長 日詰 一幸